



よしだつうしん

吉田通信

第46号
【2018年7月】

〒950-1475 新潟県新潟市南区戸頭1347-1 TEL:025-372-1138 FAX:025-372-1155

■■この吉田通信は私とご縁のあった方、ご縁をいただきたい方に差し上げている月一人通信です■■

◆骨壺に収まれば4万円??◆

こんにちは！お世話になります。吉運堂の吉田竹史です。吉田通信第46号をお送りいたします。よろしくお願いいたします。

さて、先日、関東で石材業を営む知り合いの社長から、びっくりした話を聞きました。その社長が、お墓の購入を検討されていたお客様からこんな話を聞いたそうです。

まず、あの大手流通のイオンが、ビジネスとしてお骨の永代供養を受け入れているとのこと。イオンが提携しているお寺様が全国にあり、イオンが間に入って、お骨をそのお寺様の永代供養墓に納めるというもの。価格はその（お墓の購入を検討されていた）方がイオンの担当者に相談したところ、お一人の仏様を4万円で受け入れますとのこと。骨壺が1個4万円で、他のお骨と混ぜあわせても1個に入れられれば4万円でいいですよ！お骨を砕いてなんとか入れれば、安く済ませられますよ！と、言っていたそうです…（汗）。

その関東の社長も言っていましたし、私も本当に思いましたが、この担当者は、倫理観の欠片もないというか、人を人として見ていないのか、強い憤りを感じました。もちろん、選ぶのはお客様であり、事実、イオンだから安心ということもあると思いますが、それにしても…。

片や、安ければ何でもいいではなく、高くても質の良いものを求められるお客様も実際にいらっしゃいます。つい先日も、お寺様からご紹介いただいた方で、戦没者の大きな慰霊碑について、年月が経ってだいぶ痛んでしまったので、新しくしたいと。また、新しくする際は、海外の安い石ではなくて、国産のものでお願いしたいとご依頼をいただきました。（中には、国産の中でも地元新潟の安田石でお願いしたいというお客様もいらっしゃいます）



もちろん、永代供養墓という選択肢は少子高齢化が進んでいく中では絶対に必要なものです。ただ、安くするためにお骨を粉碎してでも1つの骨壺に収まればOKです！といった対応をする人間がこの業界にいることがとても悔しく、改めて自分たちは日本人としてというよりも、人として正しい商売をしていきたいと思いました。

◆発行者コラム◆

今回もまた最後までお読みいただき、どうもありがとうございます。さて、6月に開催されました「白根大凧合戦」に今年も出場してきました。揚げ手の高齢化が進んでいる中、今回は地元以外の若手社員も集めることにしました。ただ彼らは凧の揚げ方を知りません。現場で説明しながら揚げてもなかなか上達しないと思い、今年は事前にハウツービデオを制作しました。それを見て学んでもらい当日を迎えたのですが…。きっと来年、結果に結びつくと思います！吉田竹史

■■吉田通信を今後ご希望されない方は、大変お手数ですが090-3339-0424までご連絡をお願いいたします。■■

【発行者プロフィール】

名前：吉田 竹史（よしだ たけし）
生年月日：昭和40年8月21日（O型）
出身地：新潟県白根市（現・新潟市南区）
経歴：都内の学校を卒業後、証券会社（水戸 & ニューヨーク）の4年間の勤務を経て吉運堂へ。

趣味：上手くないゴルフ、強くない将棋
（NHKの将棋対局を見ることは好きです）
家族構成：妻、娘、息子



吉田 竹史